

---

# 岐阜県立岐阜高等学校

校 長 石田 達也  
学校住所 岐阜市大縄場3丁目1番地 電話 058-251-1234

---

- 1 会議名 岐阜高等学校 学校運営協議会 (第2回)
- 2 開催日時 令和4年10月5日(水) 13:00~15:00
- 3 開催場所 岐阜高等学校 会議室
- 4 参加者
- |       |        |                   |
|-------|--------|-------------------|
| 会 長   | 西津 貴久  | 岐阜大学 教授           |
| 副会長   | 安田 洋一郎 | 本郷自治会副会長          |
| 委 員   | 伊在井みどり | 安江病院 院長 (欠席)      |
|       | 高木 敏彦  | 岐阜県教育文化財団 理事長     |
|       | 中村こず枝  | 岐阜市健康部長兼保健所長 (欠席) |
|       | 萩野 順子  | 本校PTA会員           |
| 学 校 側 | 石田 達也  | 校長                |
|       | 寺倉 新一  | 事務部長              |
|       | 森 敦士   | 教頭                |
|       | 渡部 彰規  | 教頭                |
|       | 杉山 秀謙  | 教務部長              |
|       | 籠橋 美和子 | 生徒指導部長            |
|       | 黒井 昌和  | 進路指導部長            |

## 5 会議の概要(協議事項)

- (1) 今年度前期の取組進捗状況(教務・進路指導・生徒指導)
- (2) 令和4年度生徒・保護者学校評価アンケート結果
- (3) 岐高祭取組状況(生徒会役員と協議会委員との懇談)
- (4) 授業参観
- (5) 委員からの意見・提言

○生徒会役員と協議会委員との懇談において

意見1: 岐高祭のオープニング映像で各クラス等の制作過程を配信したのはとてもよい。共に苦労した活動は月日が経つと心にしみるものとなる。

意見2: 体育大会は今後も「で愛ドーム」で開催するか。

⇒ドームでの開催は熱中症対策としてよい。観客席との一体感が生まれ全校生徒が一丸となることができる。

意見3: 体育大会を「で愛ドーム」で開催することは、何より天候に左右されず予定通り開催できる。終了後の生徒の学習への切り替えもうまくでき、目標の達成へ繋がる。

意見4: 3年ぶりの3日間開催ということだが、先輩からの助言はあったか。

⇒文化祭については先輩の助言を生かすことができた。体育大会については、初めての屋内開催で、競技種目の決定等ゼロからの準備であったが、反省を生かし来年度はもっと進化したものができそうである。

○授業参観等を終えて

意見5：アンケート評価項目の中の「F P T」とは何か。生徒のアンケート評価が他より低い。

⇒「総合的な探究の時間」の本校独自の名称である。探究的な学習を主として取り組んでいる。各自でテーマを決めて研究し、発表する。達成・結果状況がすぐに現れないことが評価の低い要因かもしれない。長期的な展望では、今身につけるべき力だと考えており、学習の意義を今後も丁寧に説明していく。

意見6：プロジェクター等のICT機器を導入して、教育効果が上がったところはあるか。

⇒従来のプリントの内容をデジタルデータで配布することで、生徒がタブレット上に書き込むことができるし、見返すことや整理がしやすい。動画を見たりすることで、視覚的に理解しやすくなる。

意見7：子供が「学校の授業は楽しい」と家で言っているが、実際に授業を参観して、その楽しさがよくわかった。ICT機器を活用した授業、グループ活動等様々な学びがあった。どの授業も教師1人と生徒40人の一体感のある授業が展開されていたことは素晴らしい。

意見8：アンケート評価項目の中の「家庭で学校に関する話をしている。」について、生徒の評価は90%近いが、親としては子供の口から大切な話が聞こえてこない。親と子の認識の違いがあるのはなぜか。

⇒生徒としては、事務的な連絡事項等の伝えるべきことは伝えているという認識だが、親としては、授業の様子等の聞きたい話が聞けないという認識の違いではないか。

意見9：校章のバッジが付けづらい。付けやすいものにならないか。

⇒バッジは伝統的なものである。そのことを生徒に伝えていく。

意見10：修学旅行は実施するか。

⇒10月中旬に、3年ぶりに3泊4日で実施する。研修場所を当初の九州方面から近畿方面に変更した。

意見11：体育大会で傷害保険はかけているか。

⇒入学時に、学校生活全般の活動を対象としたスポーツ振興センターの保険に加入している。ただ、インターンシップ等で企業に出掛けるときは、それに適した保険に加入している。

意見12：生徒及び保護者アンケート評価項目の「E（わからない）」が30～40%と高いものは、アンケートとしての意味をなしていない。見直しが必要ではないか。

意見13：今や小学校の低学年からタブレットが配付されている。高校に入学する頃にはかなり情報機器に堪能になっているはずなので、教職員もそれに対応していく必要がある。

## 6 会議のまとめ

- ・各委員から、忌憚のない多くの意見・質問を得た。特に今回は、本校生徒と委員との懇談や授業参観も含めて、各委員に学校の様子を知ってもらう大変貴重な機会となった。
- ・第3回では、今年度の教育活動の振り返りと次年度の学校運営への提案を行う予定である。